



繁栄を築く未来の礎

やらまいか

平成 29 年 9 月号 VOL 084

経済産業省認定経営革新等支援機関

丸野税理士事務所

税理士 丸野 由照

税理士 丸野 智男

〒430-0906 浜松市中区住吉二丁目 14 番 24 号

TEL:053-472-2204 (代表) / FAX:053-472-5170

メールアドレス:maruno-kaikei@maruno.com

HPはこちらで→

税理士 丸野 |

検索



先日、顧問先様よりこんな質問を頂きました。
「中小企業実態基本調査という調査票が届いたんだけど、どういうものなの？」

これは中小企業庁が行っている調査で、毎年7月頃に調査票が送付されます。全ての企業が対象ではなく、ランダムに選出された中小企業に届きます。経理状況や従業員人数を回答するもので、回答を集計し、翌年7月下旬に結果が公表されます。公表された資料は業種や、従業員の人数で区分されており、同類企業の経理状況と比較が可能です。また、経営計画の参考資料として活用できる為、一度ご覧になってはいかがでしょうか。

痛快! えだまめ君

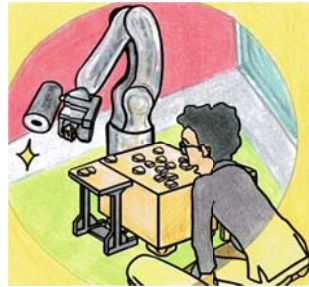
画:ほりひろみ



知って! 「税務のマメ知識」

【研究開発税制を活用して競争力の強化を!】

研究開発投資を増やして企業競争力を高めることなどを目的に、研究開発税制が見直しされました。改正前は「総額型」「増加型」「高水準型」「オープンイノベーション型」の4つに分かれていましたが、その中の「増加型」と「高水準型」は平成28年度末までの時限措置でした。改正後は「増加型」が「総額型」に組み込まれ、「高水準型」は適用期限が2年間延長され、「総額型」「高水準型」「オープンイノベーション型」の3つになりました。「総額型」の税額控除率は、試験研究費の増減に応じて6~14% (中小法人は12~17%) に拡充されました。控除限度額も一定の要件を満たした場合、従来の法人税額の25%に0~10%の上乗せが可能になりましたが、



高水準型との選択制となります。ただしどちらの上乗せも2年間の時限措置となります(税額控除率については一定率以上)。また「オープンイノベーション型」は手続きの見直しにより使い勝手の向上が図られています。

近年では、IoTやビッグデータ、人工知能などを活用した「第4次産業革命」が進展しています。これらの技術を活用する新たなビジネス開発を後押しするために、これまでの製造業による「モノ作りの研究開発」に加えて、ビッグデータなどを活用した第4次産業革命型の「サービスの開発」が試験研究費の定義に追加されました。

365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【聞くときは心を込めて】

商売の極意を尋ねられて「聞くこと」と答えたのは、ベテラン経営者のT氏です。

極意のきっかけは、その昔、夫婦で泊まった温泉宿とのこと。

その宿は人里離れた場所に一軒だけぽつんとある民家のような旅館で、予約の電話をしたときに部屋にテレビがないと聞かされたときは「夫婦二人で間が持つだろうか」と心配になったそうです。ところが行ってみればなんてことはなく、遠くから聞こえるホトトギスの声、山里を吹き抜ける風の音、その風が木々を揺らせばサワサワと葉音が鳴り、夜は夜で耳を澄ませば「静けさ」という音が聞こえてくるようで、今までにないくらい心休まるひとときだったといいます。何よりの発見は「奥さんの声」だったそうです。普段はテレビに奪われていた耳を奥さんに向けたことで「この人はこんな声だったのか」と改めてしみじみしたのだとか。そのせいか、いつもなら何となく聞き流す奥さんの話を、その



夜は耳を傾ける気持ちで聞いたそうです。「そしたら不思議なんだけど奥さんの表情がやわらかくなって。そうなるこっちも笑顔になるから自然と会話が弾んでね。翌朝には恥ずかしながら手をつないで朝の散歩を楽しんだよ」。散歩の途中、いつもより優しい声で話している自分に気付いたT氏は、いつもより晴れやかな



な笑顔を向ける奥さんを見て思ったそうです。自分は今までどんな態度でお客様の話を聞いてきただろう。どんな風にお客さまに話し掛けてきただろう——。

詩人の山崎佳代子氏はかつて、講演でこんな話をされました。「声は人の魂を結びつける。声を出すときはみんなに届くように出し、声を聴くときは心を込めて聴く。この二つが欠けると社会はほころびる」。

伝えたいことがお客さまに届くように話し、心を込めてお客さまの話に耳を傾ける。この二つが欠けると商売もほころびてくるかもしれません。話したり聞いたりとは毎日のことです。どんな態度で、どんな心持ちで行うか、それが大事なのではないのでしょうか。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード: ESG】

環境 (Environment) ・ 社会 (Social) ・ 企業統治 (Governance) の頭文字を取ったもので、これらの各分野に適切に対応することが経済の長期的な成長につながり、結果的に持続可能な社会を作ることになるという考え方。近年、世界的に広まりつつあり、ESGの視点を企業統治に取り入れる企業も増えている。機関投資家が、従来の財務情報だけでなくESGも考慮しながら投資先企業を判断する手法は「ESG投資」と呼ばれている。

トレンドを斬る!

濡れたタオルで拭いて文字を消し、半永久的に繰り返し使えるノートが米国生まれの「Everlast (エバーラスト)」です。特殊

な紙は業界の専門家と共同開発した合成ポリエステルで、スマートフォン専用アプリを使えば自動で読み取り範囲を選択してノート下部の7つの魔法のアイコンによるファイリングで簡単にデジタルノートが完成します。最高の書き心地の後は瞬時にクラウド保存してキレイに消し去る。1冊で大学ノート数百冊分の楽しみが続く未来のノートです。

